

豊後大野市立犬飼小学校

学力向上プランの概要

1 「付けたい力を意識した密度の濃い授業」の創造

- ①新大分スタンダードに沿った授業の展開
- ②学年のねらいを明確にしたペア学習・グループ学習

2 「組織的な授業改善」の推進

- ①学期1回以上の互見授業による授業改善の推進
- ②校内研究の充実

3 補充学習・家庭学習指導の充実

- ①どんコミュニティネット学習サポーターの活用（放課後TRY学習）
- ②「家庭学習のやくそく」の推進
- ③目標協働型4点セットに基づく家庭・地域の取組の評価・改善

効果のある取組事例

①指導方法や指導形態の工夫

- ・算数習熟度別授業の取組（3・4・5年）
- ・ペア学習・グループ学習の取組（全学年）
- ・キラキラタイムの取組（1・2年 週3回）
- ・国語タイムの取組（3～6年 週3回）
- ・放課後TRY学習の取組（2・3年）
- ・犬飼小アクティブラーニングの視点からの互見授業、自己点検の取組（全員）
- ・ユニバーサルデザインのよさを取り入れた教室環境の整備と授業実践
- ・宿題やテストのやり直しの徹底

②児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫

- ・ゲストティーチャーの活用（全学年）
- ・出前授業の活用（5・6年）
- ・朝の10分間の読書タイム
- ・読み聞かせボランティアの活用
- ・学校司書を活用した読書指導・図書館環境の整備

③家庭学習の取組

- ・保護者と連携し「家庭学習の約束」を守るよう働きかけ

別紙資料①

平成30年度 習熟度別少人数指導について

豊後大野市立犬飼小学校

1 平成29年度までの成果と課題

①成果

- ・実態に合った教材を準備することで、学習意欲が高まった。
- ・少人数になったことで、自分の意見を言うことができる児童が増えた。
- ・個に応じた細かな指導を工夫するなど、授業改善につながった。

②課題

- ・基礎的な学力や理解する力に個人差が大きい。
- ・既習事項でつまずいている児童に対し、個別指導する時間の確保がむずかしい。
- ・授業についての打ち合わせの時間の確保がむずかしい。

2 平成30年度の実施方法

①実施方法

- ・3～5年生で習熟度別少人数指導を実施
- ・単元ごとにレディネステストを実施し、基礎コース（こんちゃんコース）、標準コース（どんちゃんコース）の2つに分かれる。

②実施単元や授業

- ・単元のまとめ、ドリル的な内容の場合、T・T指導を行う。また、定着状況の差があまり大きくないと思われる単元、既習事項が多くない単元は、T・T指導を取り入れることもある。

③授業における習熟度別指導の相違点

- ・復習の有無
- ・問題の数値の難易度
- ・具体物の扱い方

④基本的な構え

- ・新学習指導要領の方向性を踏まえ、自立した個人として臆することなく他者と協働し、新たな価値の創造につながる言語活動を充実させる。（ペア学習・グループ学習）
- ・1時間の流れを伝え、見通しを持たせる。